

平成 27 年度第 1 回松阪市立鎌田中学校校舎改築事業基本計画等策定委員会会議録

日 時 平成 27 年 5 月 20 日 (水)  
午後 6 時 15 分 開始  
午後 8 時 00 分 終了  
場 所 鎌田中学校 1 階会議室

出席委員

委員長	小 松 尚
副委員長	高 橋 秀 敏
委員 (代理者)	山 本 嘉
委員	平 生 尚 美
委員	鈴 木 逸 郎
委員	岩 田 雅 昭
委員	橋 爪 敏 昭

出席者

教育長	東 博 武
-----	-------

事務局

教育施設担当監兼教育施設マネジメント室長事務取扱	永 田 正 仁
教育施設マネジメント室主査	池 内 正 樹
株式会社 都市研究所スペース取締役 計画室長	浅 野 健
名古屋大学大学院生	4 名

【内 容】

1. 委員委嘱について
2. 委員長及び副委員長の互選、代理者の選任について
3. 策定委員会の位置付けの確認について
4. これまでの改築推進委員会での検討経過について
5. 今後の検討予定 (ワークショップの開催方法等) について
6. その他

事務局

ただいまから、第1回松阪市立鎌田中学校校舎改築事業基本計画等策定委員会を始めさせていただきます。

まず、東教育長よりごあいさつ申し上げます。

教育長

小松先生、また、名古屋大学の皆様については遠方よりお越しいただき、ご参加いただきましたこと、お礼申し上げます。

また、各学校運営協議会から3名代表の方もご参加いただき、教職員とも運営協議会を通し学校を何とか良く変えていかなければ成らないといった気運を盛り上げていただいていることに感謝申し上げる次第です。



鎌田中学校区でございますが、まず一番最初に、松阪市においてコミュニティ・スクール活動を取り入れた学校運営を目指し、3年、4年と経過してまいりました。校舎改築事業を視野に入れ、地域住民の声を生かしたコミュニティ活動の拠点として、学校施設建設に反映していただくことを意図し、見守ってきた経緯がございます。実際そういったコミュニティ・スクールの意見として様々な校舎改築に関する声もいただいております。いよいよ具現化する段階に入ってきました。



地域の方々のお声がけや活動を通して少しずつ子どもたちの意識に変化が生まれ、生徒指導の報告事例も減少してきているといったこともあり、学校が少しずつ変わってきているなということを実感しています。

今回、鎌田中学校の改築事業になりますが、狭いグラウンドの中で関係クラブの利用時間の調整をいただきながら、事故の無いよう様々なご苦労もいただいております。なんとかこういった状況を解消するべく、隣地への用地買収事業をすすめ、現在に至っています。今後、校舎改築事業計画を策定するに当たっては、今よりも広い敷地の中で、グラウンドも確保していければと思います。新しい鎌田中学校を想像し、とても楽しみに思っています。教育委員の皆様も、なんとか意義ある校舎改築を目指してほしいといった強い願いもいただき、今まで築いてきたコミュニティ・スクールでの実績をさらに生かせる機能を校舎施設に反映させたいといった想いもいただいております。今後皆様の声、地域の声、ワークショップ活動から得られた声などいただきながら、小松先生や名古屋大学のサポートをいただき

事業を進めていきたいと思っておりますので、ご協力いただきますようお願い申し上げます。

市としましても、こういったコミュニティ・スクール活動を取り入れる校舎改築に対しては初めての経験となります。

ご不明な部分もあるかと思いますが、すこしご容赦いただき、ご協力くださいますようお願いいたします。

お互いが目指す方向性については同じ方向を向いていると信じていますので、また、市の財政面といった制約もございしますが、あまり最初から財政面を大きく捉えていただかないで、しっかりした計画を作ってください、最終的な調整段階で検討をしてみたいです。

計画が進めば、地域へのお願い事や住民との様々な調整等ご苦勞をおかけするかもしれませんがどうぞよろしく願いいたします。

委嘱状の交付を教育長よりいただきます。

事務局

(各委員委嘱状の交付)





(※山本教育政策統括マネージャー及び橋爪教育総務課長については、委員辞令を交付。)

事務局

お手元の資料の2ページ目に「策定委員会設置要綱」をつけさせていただきます。委員長及び副委員長等については委員互選とさせていただきますが、いかがいたしましょう。

(委員長等互選)

委員長に小松准教授、副委員長に高橋校長、代理者に山本マネージャーを選任。皆様の拍手を持って確認させていただきます。

委員長



(名古屋大学院生の演習  
課題による提案と報告)

す。

(拍手多数)

拍手多数で決定させていただきます。

それでは委員長、副委員長は前の席にお移りください。

議事進行については、委員長に引継ぎいたします。

(就任のあいさつ)

これから、1年かけて皆様と鎌田中学校校舎改築事業について、最初は基本構想、続いて基本計画を作成させていただくこととなりますがどうぞよろしくお願いいたします。

松阪市は、私個人としてゆかりや土地勘があるわけではないので少し変なことを申し上げることがあるかもしれませんが、そこはご容赦いただき、ご指摘いただければと思います。

ただ、今までの経験において、三重県のほかの市になりますが、いなべ市、亀山市について、地域住民の方からの要請等もあり学校建設にかかわらせていただく機会があり、そういった面では何らかの縁があったのかもしれませんが。今回は、その中でも一番南の市からの要請となりました。

少なからずも、こういった知識・経験をもとに皆様とご一緒させていただきますので、どうぞよろしくお願いいたします。

本日初顔合わせでありますので、おなじみの方も見えますと思いますが、委員の方々、出席者の皆様、自己紹介をお願いします。

(各委員、自己紹介)

今回の基本計画等策定作業については、名古屋大学との受託研究といった協働によるところがありますので、策定委員会運営に当たっていろいろサポートしていただきます。また、こういった実践的な社会経験も教育的な観点から委員会にも毎回学生が参加いたしますのでご紹介させていただきます。

名古屋大学サポート会社【㈱都市研究所スペース】浅野さんの紹介、名古屋大学院生（4名）の紹介

実は、今回の建替えプロジェクトについては、敷地の形態から建築的にみても非常に難しい反面、魅力的であり、第四小と鎌中の将来構想に係る具体的な計画を検討するうえで、研究室の履修生約15名程度への課題として取り上げたい。それについ

	<p>て、6月5日午後には鎌中周囲を見学する予定としています。  自由な発想の中で、7月の終わりには演習の成果品ができてくるので、今後、ワークショップ等の材料として、皆様と議論を深める上での参考にしたいと考えています。  については、7月下旬または8月上旬にワークショップの開催を検討したいので、スケジュール調整をお願いします。</p>
委員長	<p>それでは、議事に従い、次に進みますが、本日は第1回ということなので今後の進め方も踏まえ確認をしておきたい「策定委員会の位置付け」に係る説明を事務局をお願いいたします。</p>
事務局	<p>資料「コミュニティ・スクール組織及び松阪市基本計画等策定委員会組織相関図」に基づく説明。</p>
委員長	<p>この委員会での議論については、ぜひとも各組織に伝えていただき、また、違った意見をいただくこともあると思いますが、そういったものもこちらに持ち帰っていただく中で、情報共有が各組織や関係者としてしっかり図れるよう努めてください。時によっては、しっかりと時間をとって解決するといったこともあるかもしれませんが、そういったことは蔑ろにするつもりはありません。ご要望があれば、お聞かせ願えればと思いますのでよろしくをお願いいたします。</p>
委員長 (事務局より資料を配布)	<p>資料「松阪市立鎌田中学校校舎改築事業 基本構想及び基本計画検討を進めるに当たっての確認及び提案」に基づく説明。  委員長として、今後、基本計画等検討を進めるにあたり、4点について確認をしたい。コミュニティ・スクールを実施しているからこそ主役は、地域住民であり又学校関係者であるということ。行政及び大学は支援者である。また、校舎建て替えがゴールではなく、コミュニティ・スクール活動は継続し実施していくものであること。港小学校との兼ね合いもあるが、立地上、第四小学校との小中一貫教育など将来を見据えた検討を行い、コミュニティ・スクールを起点としたまちづくりの拠点を目指していくこと。  委員長としてこういった視点で活動をいたしますが、それについて皆様のご意見等いただければと思います。いかがですか。</p>

副委員長	まさにこのとおりであると思います。
委員	<p>第四地区まちづくり協議会ができて3年経ちます。松阪市では43 住民協議会ありますが、そのスタートのときに連合自治会（16 自治会）が基礎になって組織を立ち上げています。住民協議会と自治会は組織としては別であるが、住民の視点であればこの町で生活をしていく上でまちおこしが重要であるとの認識は同じです。そういった中で、学校改築にかかわっては委員長の考えの下進めていただけることはありがたいことです。</p>
委員	<p>自分たちの思いをわずか短時間で理解していただいたこと感謝します。他の自治体等活動を見させていただく機会もあり、地域が変わるといったことの重要性を十分認識をし、コミュニティ・スクール活動を拠点とする学校建設にできればと願っている。地域が学校建設にかかわれる、防災の面であったり、そういった声を十分に反映したい。</p>
委員	まさにこの想いです。
委員長	<p>ありがとうございます。 細かいことなどあると思いますが、この方向性で進めてまいりますので、よろしく願いいたします。 次に進みます。 いままで改築推進委員会において、既に様々な議論がなされ、意見等集約がなされてきているのではと思います。 資料として平成26年度第1回から第6回までの改築推進委員会の議事録を添付していただいているので、振り返りも行いながらご説明いただければと思います。</p>
委員	<p>議論及び意見等の詳細については、第1回から第6回までの議事録をご覧くださいのとおりですが、学校、児童・生徒、PTA及び地域など、新しい校舎への夢や希望について様々な想いが取り止めも無くあふれています。改築に係るアンケートも年末に実施し、意見集約を行ったが、学習面に対する意見は少なく、大きく次の5つのコンセプトに集約された。①トイレ、②教室、</p>

<p>委員長</p>	<p>③ロビーやサロンなどの共有・交流の場所、④体育館、駐車場、運動場の共有スペース、⑤防災に対する意見となっている。        現段階において、全ての意見をまとめるところまでは至っていないといった現状です。        また、視察に行くといった意見やシンポジウムを開催するなどの意見もあったが、実現には至っていない。</p> <p>いろいろ議論があったように感じます。議事録を見る限り様々な意見が出されており、違う回で同じような意見があるように思います。できれば次回開催までの間に、地域の方で集約していただくような作業をお願いしたい。        コミュニティ・スクール活動を実践する地域の想いを集約できるのは、あくまで主体である皆さんということになるので、ちょっとでもまとめていただくよう、ぜひともお願いいたしたい。</p>
<p>委員</p>	<p>意見を出し合う機会があったが、意見を集約する作業をすることは無かった。様々な要望は、教育委員会へあげてきたがなかなか進むものでなかった。いままでの学校建設といった箱物の整備ではダメだといった意見、そのなかでコミュニティ・スクール活動を生かす施設造りや校舎建設が教育総務課ではイメージできていないと感じていた。</p>
<p>委員</p>	<p>昨年度までは、用地買収交渉といったデリケートな部分もあり、なかなか学校敷地に関する報告や、校舎建設の方向性を教育委員会から示していただけず、また、そのこととは別に改築推進委員会では開催回数を追うごとに新校舎への期待や夢がどんどん膨らんでいった。        昨年度の夏にようやく用地が決まり、それまでの要望を取りまとめるといった作業を進めるには、専門家等のアドバイスが必要であるとの認識から学識経験者の要望をしてきた経過があります。        地域と行政の両者の思いを調整できる方を求めていました。</p>
<p>委員</p>	<p>再来週の週末には、第四小学校の運動会がありますが、その風景はまさに芋洗い状態です。大きく両手を広げてラジオ体操も</p>

委員	<p>できないすごい混雑状態で、小松先生や学生さん、教育委員会にも現状を見ておいてほしいくらいです。今すぐとは言わないが、こういう状態を早く解消してあげたいと思っています。</p> <p>昨年度については、教育委員会が予算的な兼ね合いもある中で、コミュニティ・スクールとして校舎改築の方向性が示されないので要望は全てぶつけてきた経緯があります。また、隣接用地を取得されたが、正直、将来的にはまだまだ不十分であるといったことや、現校舎との兼ね合いの中で、どういった改築、施設配置が与えられた敷地でベストなのか、相当難しい問題だと認識し、そういったことから学識経験者やコミュニティ・スクール学校施設建設にたずさわった先生を地域は求めて、行政側へ依頼してきました。</p> <p>予算権限者または計画決定権のある方から、しっかりとしたものを示していただく機会を待っている状態です。</p>
委員長	<p>ありがとうございます。</p> <p>実情は理解しました。</p> <p>改築推進委員会のなかで、昨年まで議論された概要については議事録にしっかりまとめていただいています。どれだけの情報が各地域に下りているものなのですか。</p>
委員	<p>地域には下りていません。</p> <p>決定したことではないですから。</p> <p>用地取得の報告はしているが、中身については報告できていません。</p>
委員長	<p>分かりました。</p> <p>以上を踏まえると、改築計画に係る協議は、現段階から議論がスタートすると理解すればよろしいですね。</p> <p>校舎改築に当たる方針として地域の皆さんの共通な事柄があればと思い確認をしたかったという意図があったのですが、そこまでの整理ができていないので、今の段階ではみんなでこうしようというものが無いということを確認させていただきました。</p> <p>白紙の状態からスタートするといった理解でよろしいですね。</p>

<p>委員長</p>	<p>それではこれから、進め方について説明をさせていただきたい と思います。</p> <p>資料「松阪市立鎌田中学校校舎改築事業 基本構想及び基本計 画策定委員会スケジュール案」に基づき説明。 年間 9 回(本日を除くと後 8 回)の予定で進めたいと思います。 9 月下旬に基本構想の概要を示し、1 月下旬くらいにはあらか た基本計画の素案をとった大まかなスケジュールで行きま す。</p> <p>皆さんの負担も考慮し、だいたい 1 ヶ月に 1 回の開催頻度でよ ろしいでしょうか。また、その開催期間の間で各組織への報告 や協議もあるのでそういったことも考慮するとこの予定がベ ストであると思うのですがいかがですか。</p>
<p>委員</p>	<p>これくらいの頻度でいいと思います。</p>
<p>委員</p>	<p>小松先生のご都合はこのスケジュールで大丈夫ですか。 地域へ下ろすことも考えるとこのくらいがいいと思います。</p>
<p>委員長</p>	<p>これ以上短くなると厳しいですが、ちょうどいいと思います。 開催日時については、皆さんの都合も伺いたいので次回までに 都合の良い日を持ち寄りましょう。</p> <p>今回は、今回から一步踏み込んだ議論をいたしますが、その次 の 7 月には第 1 回目のワークショップを開催したいと考えてい ます。どういった対象者を集めるか、どういった方が参加して いただけるか検討しておいていただきたい。</p> <p>最終的には次回、だいたいの年間スケジュールとワークショッ プの開催日時と対象者といったことも決めて行きましょう。</p> <p>今回は 6 月 19 日(金) 18 時 00 分から</p> <p style="text-align: right;">以 上</p>